ECO ENERGY FACILITIES in TAHARA CITY

田原市の主なエコエネルギー施設

低炭素モデルハウス

H22年11月設置

太陽光発電パネルやLED照明など最先端の技術機器を導入した施設で、効果実証試験を行い、低炭素社会に対応した次世代の施設園芸のモデルハウス。試験結果を広く公開し田原市の施設園芸の活性化を目指す。

- 事業主体（運営）
  田原市低炭素施設園芸づくり協議会
- 導入設備
  - ◆自家発電：
    ハウス天窓部太陽光発電システム（連系用）…7.84kW（35W×224枚）、
    屋外独立型太陽光発電システム（蓄電用）…2.28kW（190W×12枚）
  - ◆暖房：ヒートポンプ（5馬力×6台）　◆電照：LED　9W×100個
  - ◆被覆材：硬質フッ素フィルム２層（高断熱）
  - ◆カーテン：保温等カーテン３層（シェード幕含む）

田原リサイクルセンター風力発電所

出力1,980kW　H18年12月運転開始

- 事業主体：
  ㈱グリーンエナジーたはら
  （第３セクター）田原市51%出資
- 建設費：4億9,000万円
  （NEDO1/2補助）
- タワー高：80m
  羽（ブレード）直径：82m
- 田原リサイクルセンターの隣接地に立地し、炭生館消費電力相当分を発電する。

■H28年度実績
年間発電量：4,962,087kWh

（NEDO地域新エネルギー導入促進事業）

田原リサイクルセンター炭生館

H17年4月稼働

- 事業主体（運営）
  グリーンサイトジャパン㈱（特別目的会社）
- 処理能力
  60t/日（30t/日×2系）
- 処理方法
  流動床式炭化炉方式
- 実績（H28年度末）
  可燃ゴミ17,131t/年→炭化物714t/年
- 県下初のPFI事業。特別目的会社が田原市の可燃ごみ等の中間処理を15年間にわたり委託契約で実施。炭化物は、電気炉製鋼用コークス及び保温材の代替品として使用。

H17年度 バイオマス利活用優良表彰農林水産大臣賞
H17年度 愛知環境賞金賞

田原市役所庁舎太陽光発電システム

出力20kW　H15年1月設置

出力20kWの太陽光発電システムを市役所北庁舎屋上（10kW×1基、5kW×2基）に設置し、発電電力を市役所で使用している。

- 28年度年間発電量：
  25,559kWh
- 設置費　1,890万円

緑が浜２号緑地（エコパーク）

H15年整備

市が自然エネルギーの普及啓発及び循環型社会の創造をテーマに既存緑地を改修し、環境学習の場として整備したもの。
公園内には、2,000kWの風車がそびえ立ち、釣りが楽しめる見晴らしデッキも整備されている。

- 太陽光発電足元照明灯
  10W×6基
- 環境共生技術（土壌浄化・水再利用）を導入したトイレの設置
- 見晴らしデッキ

蔵王山展望台風力発電設備

出力300kW　H14年3月運転開始

田原市が平成10年度に策定した「たはらエコエネルギー導入ビジョン」に基づき、田原市が率先導入した。発電した電気は展望台で使用し、余剰分は電力会社に売電している。

- 展望台平均風速：7.89m/s（H28）
- 建設費：1億4,000万円
  （NEDO1/2補助6,379万円）
- タワー高：30m
  羽（ブレード）直径：29m（1枚14.5m）

■H28年度実績
年間発電量：799,428kWh

田原市 市民環境部 環境政策課

〒441-3492　愛知県田原市田原町南番場30-１
Tel▶0531-23-3541　Fax▶0531-23-1832　E-mail▶kankyo@city.tahara.aichi.jp

◎この用紙は再生紙を使用しています。